

ハマる人続出

“まつ毛エクステ”ってな～に？

最近、おしゃれな女の人たちが続々と「ハマり」はじめているまつ毛エクステ。注目度は高いけど、「不自然にならない？」とか、「まつ毛の負担にならない？」という、ギモンや不安でうavanaughい人も多いです。

その要証はギモンを、専門家を指す現場の先生にうづけました！

翻訳・文：江戸川由香　監修：井上千子
デザイン：八幡晶子　翻訳：伊藤幸季　イラスト：ミラマキ
まつ毛エクステーション編：江原あかね　吉田千恵

まつ毛エクステカルテ
「マツエクカミー」学園
井上千子先生



東京でマツエクの専門校として開設。
エヌエスティシングス井上千子先生
井上千子先生

Lesson1 まつ毛エクステのキホン

ギモン マスカラでも、つけまつ毛でもない“まつ毛エクステ”。一体どんなもの？

After



日本人の多くは比較的まつ毛が短く、直毛で下向きに生えやすいので、まつ毛エクステのカールで目ヂカラがアップして、コンプレックス解消に！

Lesson2 まつ毛エクステのしくみ

ギモン エクステって、何がどうやってまつ毛にくっついてるの？

つけ方は？ 上付け、下付けに加え、生え.cgiに对処する付け方も

何をつけるの？ 人工のまつ毛。

「ミンク」「シルク」となど呼ばれていますが、化学繊維です！



被毛の毛の上にグルーミングテープを貼り、その上にエクステを貼り、下付けで固定したりなどが、下付けでまつ毛を日本人のまつ毛と同じ形に整えて、綺麗で自然な形にします。

日本人のまつ毛にじむのは、上付け。毛質は、天然のミンク毛もありますが、ごわごわ、バラバラで品質が未知数。

一般に使われているエクステは、化学繊維の人工まつ毛です！



エクステの材料は、基本的に人工毛。「ミンク」と「シルク」は、あれでも同じです。日本では「シンケ」と書く人もいるくらい品名とされ、次に「シルク」です。実際数年間日本人のシング製エクステも売っています。これごわだいして本物そぞらいで、まだ実用には向かないですね。

日本人のまつ毛にじむのは、上付け。毛質は、天然のミンク毛もありますが、ごわごわ、バラバラで品質が未知数。

一般に使われているエクステは、化学繊維の人工まつ毛です！

2013年6月号 HOT TOPIC HOT TOPIC

Lesson3 不自然にならない、キレイな仕上がりのヒミツ



まつ毛にうるさ
まつげで見ぬけ！

ギモン どんな風にオーダーすればいいの？

デザインは カール 本数 太さ 長さ の組み合わせ。

カール

カールは、最もナチュラルな「カール」やや強めの「Cカール」、最も強めの「スーパーCカール」の3種類が、通常の女性用パッケージ。カールが弱いほど重ねたまつ毛の接觸面が多いので持ちが良く、自然にになります。

リカール Cカール スーパーCカール

本数

まつ毛の毛周期は平均3ヶ月で、両目10本の中には成長期のものも、寝て成長期のものについたのはかけはうが無理なので、本日は毎日10本程度が適度です。一時的でなく長い目で見たい場合は、無理をして大げさに。

40本 80本 120本

Before After

太さ

サロンによって異なりますが、通常しているのは0.07mm~0.30mm。地毛よりも太いものつけると、直毛になるので、日常生活には0.15mmまでがオススメです。それより大きいものはウェーブ等を含めて好みのみ。

長さ

通常は長さ1~13mmの範囲で、長いものと短いもの組み合わせ・配置でデザインが変わります。徐々にエスカレートして全体に長いオーダーする方も多いですが、15mm以上になると保けらでなく見えることがあります。

4つの要素を組み合わせて、デザイン自由自在！

ナチュラル系



エクシード系



キュート系



グラマラス系



まつ毛0.07mmのJカールを両目で約100本、長さ27~30mm、直径、目尻は8mmで目頭に。他の10mmの同じまつ毛の糸をほどこして、Jカールで7種類の糸をほどこして、目頭から目尻へかけて徐々に長にしていくデザイン。

まつ毛0.10mmのJカールを両目で約140本、長さ27~32mm、直径、目尻は9mmで目頭に。他の12mmの糸をほどこして、目頭から目尻へかけて徐々に長にしていくデザイン。

まつ毛0.10mmのJカールを両目で約140本、長さ27~32mm、直径、目尻は9mmで目頭に。他の12mmの糸をほどこして、目頭から目尻へかけて徐々に長にしていくデザイン。



初めての人は、太さ0.15mmのJカールを使って

60本くらいからトライすれば、速和なくキレイな印象に！

Go! Coupon Page!

クーポンページで、気になるお店をチェック！

101 HOT TOPIC HOT TOPIC 2013年6月号